

7月25日(月) 1ヨハネ 4:19~21 “神がまずわたしたちを愛してくださったから”

4:19 わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。

4:20 「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者がいれば、それは偽り者です。目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することができません。

4:21 神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。これが、神から受けた掟です。

神を愛すると言いながら目に見える兄弟を憎むなら、その人は偽り者だとヨハネは断言しています。人間は神のかたちに似せて造られています。その人間を愛することができないなら、目に見えない神を愛することは不可能です。神に対する愛は、目に見える兄弟を愛することによって表されます。そ

7月26日(火) ルカ 7:47~48 “多くを赦された者として”

7:47 だから、言うておく。この人が多くの罪を赦されたことは、わたしに示した愛の大きさと分かる。赦されることの少ない者は、愛することも少ない。」

7:48 そして、イエスは女に、「あなたの罪は赦された」と言われた。

罪深い女が人前に出てくるということは常識的に考えられないことでした。自分の罪を自覚していたことが彼女をそうさせたのでしょうか。「罪を隠している者は栄えない。告白して罪を捨てる者は憐れみを受ける」箴言 28:13 罪人の身代わりに十字架に架かれたイエスさま以外に罪を取り除ける方はいません。私たちのところへと歩いて来てくださったイエスさま、私たちの罪のために十字架

7月27日(水) フィリピ 4:4~7 “思い煩うのをやめて、感謝を”

4:4 主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。

4:5 あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。

4:6 どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。

4:7 そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。

パウロは「主が近くにおられるから広い心でどんなことでも思い煩うのはやめて常に喜びなさい」と勧めています。この喜びとは、一時的な喜びではなくイエスさまから来る継続的な喜びのことで、神の平和の中にあり続けるということです。思い煩いは手放して穏やかな心で感謝を捧げ祈るとき、神

7月28日(木) アモス5:13~15 “善を求めよ、悪を求めな”

5:13 それゆえ、知恵ある者はこの時代に沈黙する。まことに、これは悪い時代だ。

5:14 善を求めよ、悪を求めな お前たちが生きることができるために。そうすれば、お前たちが言うように 万軍の神なる主は お前たちと共にいてくださるだろう。

5:15 悪を憎み、善を愛せよ また、町の門で正義を貫け。あるいは、万軍の神なる主が ヨセフの残りの者を 憐れんでくださることもあろう。

イスラエルは「万軍の神、主が共におられる」と口先で唱えるも、道徳的には腐敗していました。国が豊に繁栄すると権力者や裕福な者が社会的弱者を虐げたり不正や偶像礼拝などを行い、「彼らの礼拝は神に退けられた」(5:21~23)ほど神さまへの畏れを忘れていました。預言者アモスは神の民と言われたイスラエルの民が真実の心で礼拝を捧げ神のみ言葉、みこころを求める生活を取り戻すよう正義を訴えています。

7月29日(金) 1ヨハネ5:14 “神の御心に適うことを願うなら”

5:14 何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。

神さまのみこころに適う祈りをするとき、神さまから与えられた祈りの答えは救いへの確信となります。祈りの生活が充実すればするほど、神さまとの対話が増え、救いの確信は深まります。ただし、祈りの答えがすぐ来るとは限りません。最善のときに最善の方法で最善のことをなしてくださいから失望せずにイエス・キリストのみ名によって熱心に忍耐強く祈り続けることが大切です。

7月30日(土) 使徒20:28 “あなたがた自身と群れ全体とに気を配って”

20:28 どうか、あなたがた自身と群れ全体とに気を配ってください。聖霊は、神が御子の血によって御自分のものとなされた神の教会の世話をさせるために、あなたがたをこの群れの監督者に任命なされたのです。

聖霊に促されて群れの監督に任命されたエフェソの長老たち。その群れはイエスさまの血によって神さまが建てられたものですから監督の責任は重大です。教会を形成するのは神のみ言葉であることを信じ、み言葉に信頼して仕え、人々に神さまの恵みを受け継がせなくてはなりません。そして私たちの教会も、主イエスさまの福音を力強く証しする群れとして伝道する使命があります。

7月31日(日) エフェソ 5:1~20 “愛されている子ども”

5:1 あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。

5:2 キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。

5:3 あなたがたの間では、聖なる者にふさわしく、みだらなことやいろいろの汚れたこと、あるいは貪欲なことを口にしてはなりません。

5:4 卑わいな言葉や愚かな話、下品な冗談もふさわしいものではありません。それよりも、感謝を表しなさい。

5:5 すべてみだらな者、汚れた者、また貪欲な者、つまり、偶像礼拝者は、キリストと神との国を受け継ぐことはできません。このことをよくわきまえなさい。

5:6 むなしい言葉に惑わされてはなりません。これらの行いのゆえに、神の怒りは不従順な者たちに下るのです。

5:7 だから、彼らの仲間には引き入れられないようにしなさい。

5:8 あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。

5:9 ——光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。——

5:10 何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。

5:11 実を結ばない暗闇の業に加わらないで、むしろ、それを明るみに出しなさい。

5:12 彼らがひそかに行っているのは、口にすることも恥ずかしいことなのです。

5:13 しかし、すべてのものは光にさらされて、明らかにされます。

5:14 明らかにされるものはみな、光となるのです。それで、こう言われています。「眠りについている者、起きよ。死者の中から立ち上がれ。そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」

5:15 愚かな者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。

5:16 時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです。

5:17 だから、無分別な者とならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。

5:18 酒に酔いしれてはなりません。それは御を持ち崩すもとです。むしろ、霊に満たされ

5:19 詩篇と賛歌と霊的な歌によって語り合い、主に向かって心からほめ歌いなさい。

5:20 そして、いつも、あらゆることについて、わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。

悪い時代ですが、私たちはキリストにあってすでに神の子なのですから、真実を見失うことがないようにと諭しています。「あなたがたは神に愛される子どもですから」という言葉が心に強く迫ってきます。親は子どもの成長を見守り、助け、期待し、喜びます。神さまも私たちが神の子として成長することを喜んでくださり祝福してくださいます。神に倣うことが大切です。その最も優れたお手本はイエスさまです。

